

## 令和5年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	道の駅くしま
所在地	串間市大字西方5503番地1
指定管理者	名称 株式会社海山社中
	代表者 代表取締役 堀口 一樹
	住所 宮崎県串間市大字南方2588番地1
モニタリングの実 施方針・方法等	業務報告書の提出を受け、モニタリングを行った。 また、サービスの質については、運営評価モニター会議にて、適正なサービス提供が行われて いるかを確認した。
担当課 (問い合わせ先)	串間市役所 商工観光スポーツランド推進課 観光スポーツランド推進係 (TEL0987-55-1126 内線268)

### ■モニタリングの総合コメント

「道の駅くしま」は「まちなかの道の駅」として、市民及び道路利用者に良好な休憩場所と地域情報の提供、地元製品の販売・PR、交流促進の場を提供する等、施設の設置目的に則した適正な運営・管理が行われている。レストランメニューでは、串間市のご当地グルメ「ぶりぶり丼」に加えて、新たに「ぶり漬け丼」など「選べる丼ご膳」の提供を開始する等、メニュー更新も積極的に行われている。

施設利用者数は前年度比で約25万人の増となり、売り上げも伸びているが、地場産品の商品ラインナップについてはもう少しバリエーションが欲しいという意見もあった。今後も関係団体と連携しながら、魅力ある商品開発や自主事業の企画、情報発信等に積極的に取り組むことで、さらなる利用者増と収益増を目指していただきたい。

### ■今後の業務改善に向けた考え方

串間市の観光入込客数は、コロナ前を超える水準まで増加している。東九州自動車道の延伸等により、周辺環境は観光振興にとって追い風となっている。この機運を逃すことなく、中心市街地の集客拠点としてさらなる安定運営が図られるよう、積極的な事業展開を行っていただきたい。

地場産品の商品バリエーションについては、出荷者協議会など関係団体等とのさらなる連携強化により、地元産品の安定した品揃えを実現することで、施設の売上増と利用者の満足度向上に資する取り組みに努めていただきたい。

また、市内の他の観光施設や地元商店街等と連携して、周遊観光の促進に資する取り組みを強化することにより、「まちなかの道の駅」が市内全域に経済波及効果を広げるような拠点施設となることを期待したい。

■基本的な考え方(施設の性格・目的との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の設置目的に沿った運営が行われている。また、地域振興施設としての役割と責務を理解し、串間の魅力を十分に市内外へ発信する取り組みを行っている。

■業務内容

・機能性・独創性(事業への具体的な取り組み方)

道の駅くしまオリジナルの商品開発や、地場産品を活かしたレストランメニューの開発等を積極的に行っている。地域貢献事業として、串間市内の小・中学校における課外授業(施設見学等)の受け入れや、地元生産者を中心に構成された「道の駅くしま出荷者協議会」と連携した地元産品の出品販売等が行われている。

・責任性・実効性(施設の運営体制や組織)

基本協定書に基づき、適正な管理運営が行われていた。施設の維持管理についても適切に行われており、連絡調整会議等においても市と指定管理者間の意思疎通が十分なされていた。

・明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

金銭管理、業務報告等については月例報告書により提出され、適正になされていた。

・安全性(安全管理、緊急時等の対応)

「防犯マニュアル」や「緊急連絡網」を作成しており、緊急時に迅速かつ適切な対応を行えるよう安全対策を講じている。

・社会性(環境等への配慮)

市民や道路利用者に対し、快適な休憩サービスを提供しつつ、照明や冷暖房機器の使用調整などによる電気使用料の削減を図ると同時に、地下水熱空調システムの視察研修受け入れ等により、市の推進する再生可能エネルギーの普及啓発にも寄与している。

■事業収支

経済性

公益事業については、協定書に基づき適正に運営されている。収益事業については、さらなる利用者増と収益増を目指して、魅力的な商品開発やイベントの企画、経費の削減等に努めていただきたい。

■団体の経営状態

経営の健全性

指定管理者の運営努力に加えて、東九州自動車道の延伸など周辺環境も追い風となり、施設利用者数は大きく増加している。次年度は、現指定管理期間の最終年度となることから、これまでの施設運営に係るノウハウやデータ分析等により、さらなる収益増と経営改善を目指して、効果的かつ効率的な施設運営に努めていただきたい。